

年頭のご挨拶



和歌山県知事
仁坂 吉伸

新年明けましておめでとうございます。謹んで県民の皆さんに新春のお慶びを申し上げます。昨年は、和歌山の再上昇に繋がる一年でありました。春には待望の京奈和自動車道の県内区間に加え、第二阪和国道が全線開通するなど交通ネットワークが強化され、「チャンスの道」が延伸することとなりました。

また、観光客総数、外国人宿泊客数ともに県史上最高記録を達成しました。そして、日本遺産「絶景の宝庫 和歌の浦」と「最初の一滴」醤油醸造の発祥の地「紀州湯浅」のW認定や、まちなか再生に結びつく3大学の開学準備の進展、紀伊半島が世界的旅行ガイドブック「ロンリープラネット」の選ぶ旅行先ベスト5入りの快挙など明るい話題が続きました。

一方で、台風21号による災害に見舞われた年でもありました。亡くなられた方のご冥福をお祈りいたしますとともに、被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。平成30年度には全面的な復旧を果たし、元の生活を早期に取り戻せるよう全力で取り組みます。引き続き、大規模自然災害への防災・減災対策を強力に推進して県民の命を守ります。

今年も、昨年策定した長期総合計画を軸に、県民みんなが活躍できる「元氣な和歌山」の実現に向けた取り組みを強化します。そのためにも、多くの県民・企業等と一緒にスタートさせた結婚・子育てや女性の活躍を応援する企業同盟、本県独自の再就職就活サイクルの構築など、本県の社会構造を変革させるための大きな仕掛けを着実に軌道に乗せ、進むべき将来像への道筋をより確かなものにしていきます。

和歌山県は、ポテンシャルが高く底力があります。郷土に自信と誇りを持つよう、県政のさらなる発展に弛まず頑張つてまいります。

新しい年が輝かしい年となりますことをお祈り申し上げ、年頭のご挨拶いたします。



和歌山県議会議長
尾崎 太郎

あけましておめでとうございます。

県民の皆様には、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃より議会活動に、温かいご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は熊野那智大社御創建1700年の節目にあたる大切な年でした。皆様ご存じの通り、熊野那智大社を含む熊野三山とも関係の深い八咫鳥は「古事記」や「日本書紀」にも登場しており、悠久の時間を刻む和歌山県の歴史を示す象徴的な出来事でありました。本年はこの歴史の中で連続と受け継がれた文化、伝統、技術を世界に向けて今まで以上に発信する年にしていかなければなりません。

昨年末には日本貿易振興機構（JETRO）の和歌山貿易情報センターが設置されるなど、海外に向けた情報発信体制が整いつつあります。これを追い風としてより一層、本県の農林水産物の輸出促進、地場産品・伝統工芸品の海外販路開拓、外国企業誘致や観光資源の情報発信などを推進し、「和歌山から世界へ、世界から和歌山へ」となるよう、県民の皆様と共に歩んで行く所存でございます。一方で、10月の台風21号の影響による記録的な大雨により、紀北地域を中心に土砂災害が発生しました。改めて亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、被害に遭われた方々に心よりお見舞いを申し上げます。

紀伊半島大水害の教訓を踏まえ、災害に強いまちづくりを目指すなかで毎年のように発生する災害に対し、改めて自然の持つ大きな力への畏怖の念とともに、一層の強固な防災対策、復旧体制の構築の必要性を痛感するものであります。皆様の生命・財産をお守りすることが我々県議会の重要な責務であり、本年も引き続き災害に強いまちづくりに積極的に取り組んでまいります。

この一年が県民の皆様にとってよりよい年となりますよう心からお祈り申し上げます、新春のご挨拶いたします。

